

公益財団法人 茨城県国際交流協会

名称	公益財団法人 茨城県国際交流協会	
英文名	IBARAKI INTERNATIONAL ASSOCIATION	
代表者	理事長 齊藤 久男	
所在地・連絡先	〒310-0851 水戸市千波町後川745県民文化センター分館2F TEL:029-241-1611 FAX:029-241-7611 URL: http://www.ia-ibaraki.or.jp E-mail: iia@ia-ibaraki.or.jp	
設立年月／地域国際化協会認定年月	1990(平成2)年10月設立／1991(平成3)年2月	
基本財産／年間予算額	491,400千円／92,000千円	
会員制度	団体会員75団体(年会費1口10,000円)、個人会員86人(年会費1口3,000円)	
役員数／職員数	評議員23人、理事22人(うち常勤1人)、監事2人／職員19人(県派遣2人、民間出向1人、パート1人、臨時1人、非常勤嘱託12人、CIR1人、JICA国際協力推進員1人)	
国際交流施設の概要	事務所	茨城県所有 72.90㎡ 平成7年3月設置
	国際交流サロン	茨城県所有 72.90㎡ 平成7年3月設置
	研修室	茨城県所有 48.60㎡ 平成7年3月設置
	ボランティアルーム	茨城県所有 48.60㎡ 平成9年4月設置
	外国人相談室	茨城県所有 7.2㎡ 平成8年4月設置
民間国際交流団体とのネットワーク	国際交流ネットワーク会議(年1回、国際交流協力団体、市町村等)	
定期刊行物	「ふれあい茨城」(日本語)年3回	
主な出版物	「外国人のための生活ガイドブック」(英・ポルトガル・タイ・中・タガログ・スペイン・韓国・インドネシア・ベトナム)「メディカルハンドブック」(英・ポルトガル・タイ・中・タガログ・スペイン・韓国・インドネシア・ベトナム)「災害時マニュアル」(英・ポルトガル・タイ・中・タガログ・スペイン・韓国・インドネシア・ベトナム・日本語ルビ付き)	
平成28年度 主要事業	1 共に目指す多文化共生社会づくり	
	(1) 外国人が安心して生活できる環境の整備	
	○コミュニケーション支援	インターネット、携帯メール、フェイスブックなどにより、9言語(英語、中国語、ポルトガル語、タイ語、タガログ語、スペイン語、韓国語・インドネシア語・ベトナム語)による震災・防災、観光、当協会の催事などについて情報を提供する。また、多言語による生活ガイドブック、災害時マニュアル、メディカルハンドブックを配布する。 予算額: 919千円
	○日本語学習の支援	日本語教育アドバイザーを講師とする日本語教授法講座を実施し、ボランティア日本語講座を支援する。 予算額: 400千円
	○外国人相談センターの運営	英語、ポルトガル語、中国語、タイ語、タガログ語、スペイン語、韓国語、インドネシア語、ベトナム語の相談員を配置し、法律、労働、教育等生活全般について相談を実施する。月2回無料弁護士相談を行うとともに、年1回休日出張相談を実施する。 予算額: 8,255千円
○多文化共生のためのサポーターバンクの運営	多文化共生の地域づくりを推進するため、多文化共生サポーターバンクを運営する。サポーターバンクには、外国人支援のための「医療通訳サポーター」、「災害時語学サポーター」、「外国人のための地域生活アドバイザー」や、相互理解を進めるための「各国事情紹介講師」、「ホームステイホストファミリー」、茨城の情報発信を行う「いばらきインターナショナルアンバサダー」等の人材登録を推進し、活用を図る。	

公益財団法人 茨城県国際交流協会

○災害時・緊急時の在住外国人支援体制の充実・強化	<ul style="list-style-type: none"> ・多言語での外国人医療サポートの実施 外国人が医療現場でコミュニケーションを容易にできるよう、医療通訳サポーターを派遣する。 ・防災訓練への外国人の参加促進 茨城県総合防災訓練に参加し、外国人と災害時語学サポーターが共に避難、消火、応急手当等の訓練を受ける。また、訓練の中で災害時語学サポーターが災害時に情報の通訳翻訳等の支援ができるよう研修する。 予算額：150千円
(2)外国人による地域活動の推進	
○在住外国人や留学生の地域活動への参画拡大	地域の外国人住民が自ら活動できるよう、地域活動等への参加を促進するとともに、グローバルな人材のネットワーク化を進め、地域の情報発信等の活動を支援する。
2グローバル交流の推進	
(1)国際活動情報の提供	
○機関紙「ふれあい茨城」の発行	年3回(7月、11月、3月)発行。様々な情報や協会・民間団体の活動内容を紹介する。 予算額：1,000千円
○ホームページによる情報提供・交流	協会のホームページで、各種情報を発信するとともに、情報交流の場を設ける。また、多文化共生サポーターバンクにおいて国際交流や語学等のボランティア情報を公開している。予算額：279千円
(2)国際交流・協力の推進	
○国際交流・協力ネットワーク会議	市町村、市町村国際交流推進組織及び民間国際交流協力団体との連絡会議を開催し、研修及び情報交換を図る。 予算額：120千円
○多文化共生サポーター研修会	多文化共生サポーターのうち、「語学サポーター」への研修を行い、サポーターのスキルアップと新規サポーター発掘、県民と来県外国人との交流を促進する。
○連携による国際協力事業の実施	書き損じハガキなどを収集し国際協力を行っている団体を支援するとともに、海外での大規模災害などの際に「NGO茨城の会」と共同で街頭募金等義援金募集を行う。
(3)産業のグローバル化への支援	
○企業の海外展開等への支援	企業等が実施するイベントや講座への講師派遣、留学生と企業のマッチング支援等を行う。
○留学生等による茨城の魅力発信	多文化共生サポーターバンクに新たに茨城の情報発信を行うサポーターを創設・登録し、留学生等グローバルな人材により国内外への茨城の魅力発信する。
3グローバル社会へ向けた人づくり	
(1)国際理解を推進するための事業実施体制の整備	
○茨城県国際理解教育推進協議会の設置	国際理解教育を推進するため、当協会、県、県教育委員会、大学留学生協議会等と連携し協議会を設置する。
○茨城県留学生親善大使の登録・派遣	県内在住の留学生を茨城県留学生親善大使に任命し、国際理解教育や交流事業に派遣し、県民の国際交流、国際理解を推進する。 予算額：400千円
○国際理解教育研修会	国際理解教育のコーディネーターや教員を対象に国際理解教育を実施するファシリテーター育成のために研修を実施する。
(2)相互理解・国際理解の推進	
○ワールドキャラバン国際理解教育講師等派遣事業	国際理解教育のために、留学生親善大使等外国人講師やファシリテーターを学校や生涯学習の場に派遣する。 予算額：600千円

公益財団法人 茨城県国際交流協会

○外国人による日本語スピーチコンテスト	在県外国人に日本語による意見発表の機会を提供し、県民の国際理解を図る。 予算額：770千円
○世界文化セミナーの開催	世界の社会問題や文化について英語で話し合う講座を実施する。 予算額：420千円
○海外研修の実施	県の上海事務所を拠点とし、企業訪問等中国式ビジネス研修や本県留学経験者との交流など、青年の海外研修を実施する。 予算額：178千円
○国際理解青年のメッセージ	高校生による国際理解に関する日本語弁論大会や留学生による日本や世界に対するシンポジウムを行い、参加者等の国際理解を深める。
○茨城ふるさとファミリー事業	留学生や在住外国人が当協会登録のホストファミリーにホームステイすることで、茨城に新しい家族を作る場を提供する。
○クエスト茨城留学生研修	親善大使等県内で学ぶ留学生が、茨城県に立地する企業、施設等を訪問し、本県についての理解を深める。



ワールドキャラバン事業



外国人相談センター 9言語の相談



クエスト茨城留学生研修



協会建物外観